

事務事業名 太宰府特別支援学校放課後等支援事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1660

施策：	11	障害者福祉の充実	財務コード	01030105-26-00
基本事業：	01	自立支援の促進	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	自立支援給付の利用者数 施設入所・入院から在宅生活へ移行した障害者の人数		担当課	生活福祉課
			担当係	障がい者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内に居住し、かつ、学校の小学部に在学する児童及び中学部又は高等部に在学する生徒。			太宰府特別支援学校に通学する児童生徒に放課後等活動の場を提供することを目的として筑紫地区5市（特別支援学校校区）で放課後等支援事業を実施する。事業所に事業を委託し実施する。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
福岡県立太宰府特別支援学校に通学する児童及び生徒に放課後等の活動場所を提供するとともに、障がい児を日常的に介護する保護者等の一時的な休息を確保すること。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
太宰府特別支援学校放課後等支援事業の利用者数		人	237	268	200	200			
5. コスト									
事業費		計	千円	2,701	3,803	3,797	3,302		
		国	千円	919	1,057	1,077	1,025		
		県	千円	459	528	538	513		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	59	120	120	120		
一般	千円	1,264	2,098	2,062	1,644				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,501	4,612	4,604	3,302			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	放課後等支援事業の延べ利用者数は増加傾向にあり、保護者からのニーズに対応できているものと考えられる。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり	放課後に児童を預かる放課後等デイサービス事業所も増えており、今後の動向を注視する必要がある。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
太宰府特別支援学校が平成24年度開校したが、保護者から放課後の支援を要望する意見が出された。				備考・特記事項 or 進行管理欄					